

# 2017年度 健康白書

東レ健康保険組合  
2018年2月発行



# はじめに

## データヘルス計画における「健康白書」の位置づけ

データヘルス計画とは、医療費データや健診情報等のデータ分析に基づいて、PDCAサイクルをまわし効率的・効果的な健康づくり・疾病予防活動を実践するものです。すべての健康保険組合は2015年度からの実施を国から求められており、2018年度から第2期データヘルス計画が始まります。

東シ健康保険組合では、被保険者と被扶養者の健康状態や生活習慣の特性を「見える化」するため、健康白書を作成しました。

今後も定期的に発行することで健康保険組合加入者の健康課題を把握し、健康づくり・疾病予防活動の展開に努めてまいります。

本書では、以下の通り「医療費・医療機関受診（疾病）状況」「健康診断の状況」「生活習慣の状況」を記載します。

## 目次

1. 医療費の状況	-----	2
2. 疾病の状況	-----	4
3. 東シ・関連会社別の状況（医療費・疾病）	-----	6
4. 健康診断の状況（1）	-----	10
5. 生活習慣の状況	-----	12
まとめ	-----	16

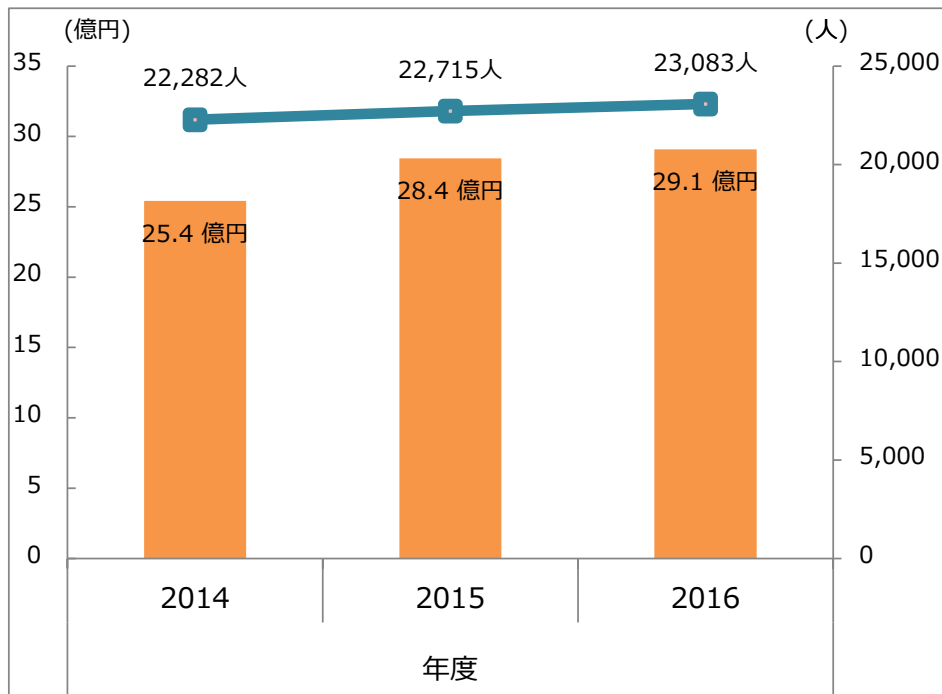
### 【分析に関する情報】

- 本報告書の医療費・疾病情報は2014～2016年度のレセプトデータより集計しました。
- 疾病分類には国際疾病分類 第10版(ICD-10)を使用しています。
- 疾病別医療費には医科医療費および調剤医療費が含まれます。
- 年齢は各年度末(3月31日)で算出しています。
- 被保険者(本人)のみが集計対象です。被扶養者・任意継続は含まれていません。

# 1. 医療費の状況

本項では、被保険者の医療費推移について記載します。  
(金額は、総医療費＝10割を表します。以降同様)

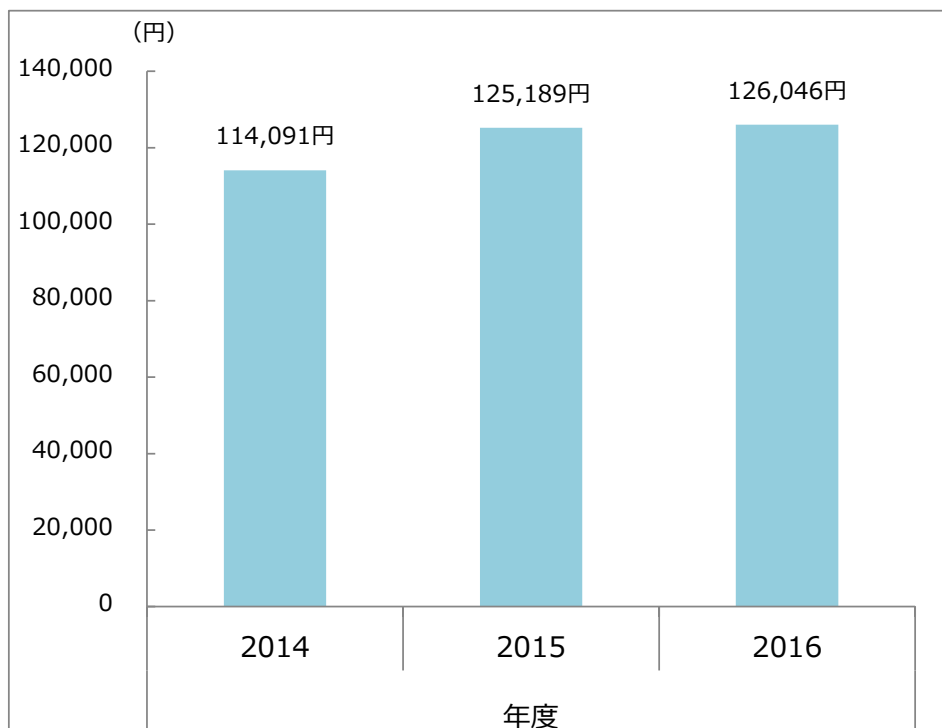
## ■医療費および被保険者数の推移



(全レセプト・被保険者)

2016年度のレセプトでみた医療費は約29.1億円となります。医療費の2015年度からの伸び率は+2.5%、これに対して被保険者数は+1.6%となっています。

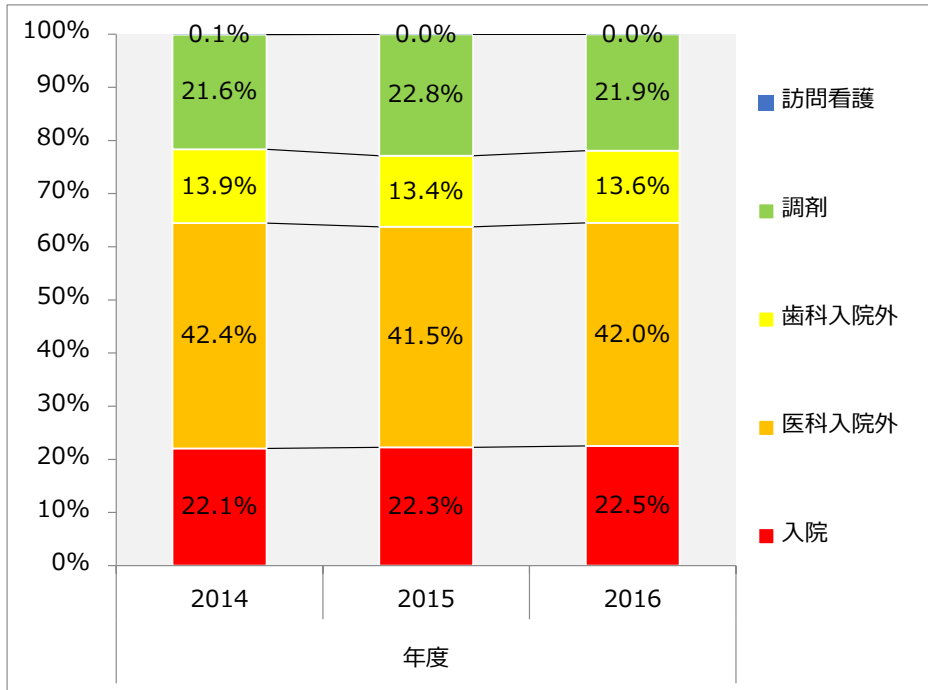
## ■被保険者一人当たり医療費の推移



(全レセプト・被保険者)

被保険者一人当たり医療費の推移をみると、2015年度と2016年度では、微増となっています。

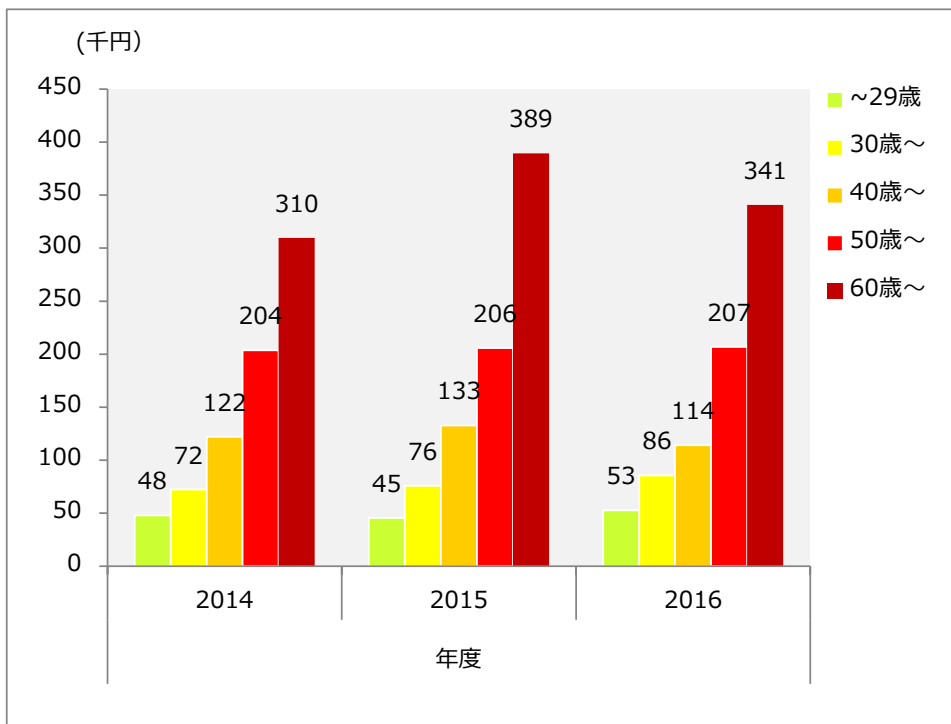
## ■診療区分別医療費割合の推移



(全レセプト・被保険者)

診療区分別医療費割合の推移をみると、2015年度と2016年度では、全ての診療区分で大きな変化は見られません。

## ■年代別一人当たり医療費



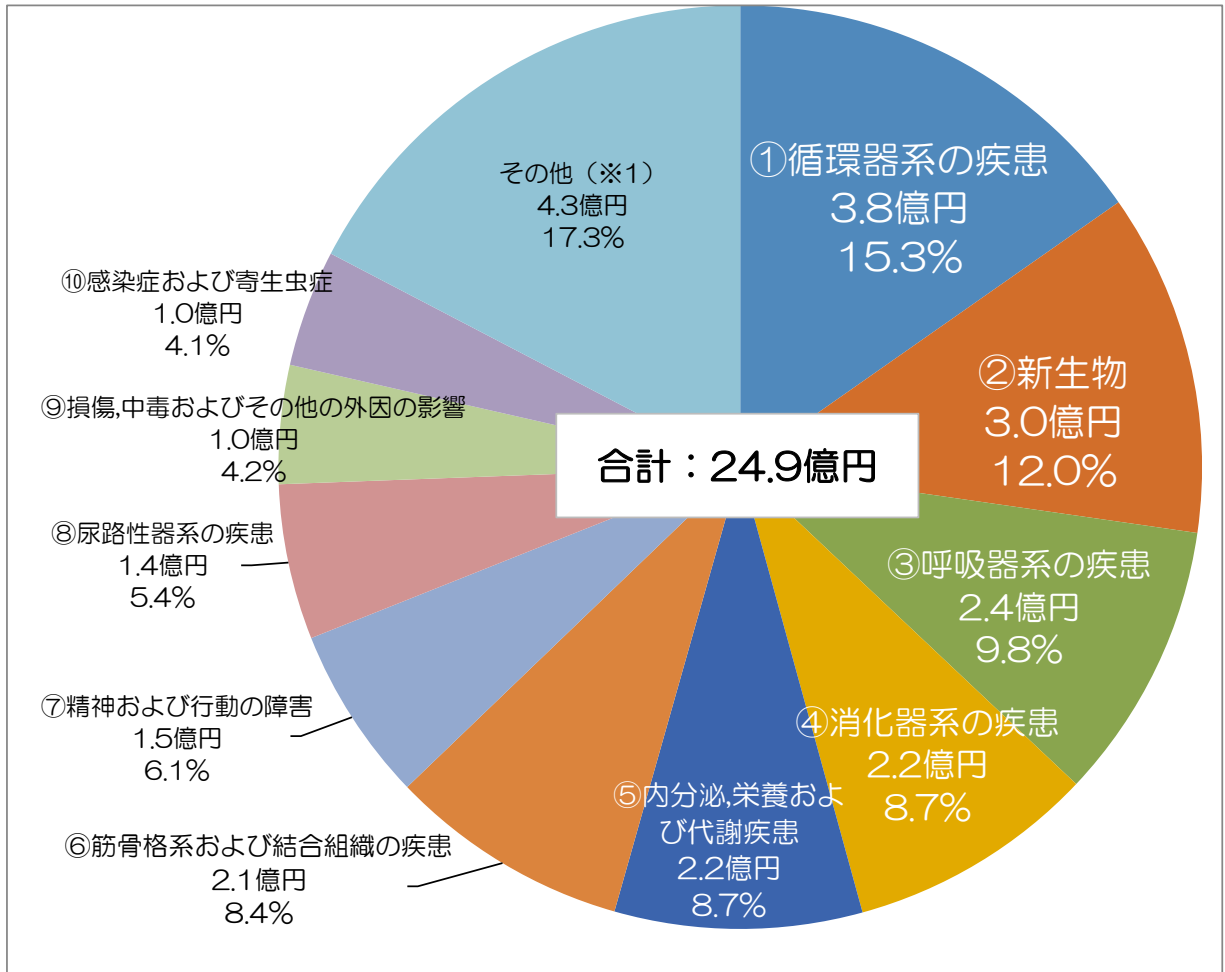
(全レセプト・被保険者)

年代別の被保険者一人当たり医療費をみると、年齢が高くなるほど、医療費は高くなる傾向にあります。各年度の推移をみると、29歳まで、30歳代、50歳代は増加しています。

## 2. 疾病の状況

本項では、疾病状況（医科）について記載します。  
（歯科医療費は含みません。）

### ■ 疾病別医療費割合



その他(※1)とは、  
皮膚および皮下組織の疾患（1.0億円）  
神経系の疾患（0.9億円）  
眼および付属器の疾患（0.9億円）  
等

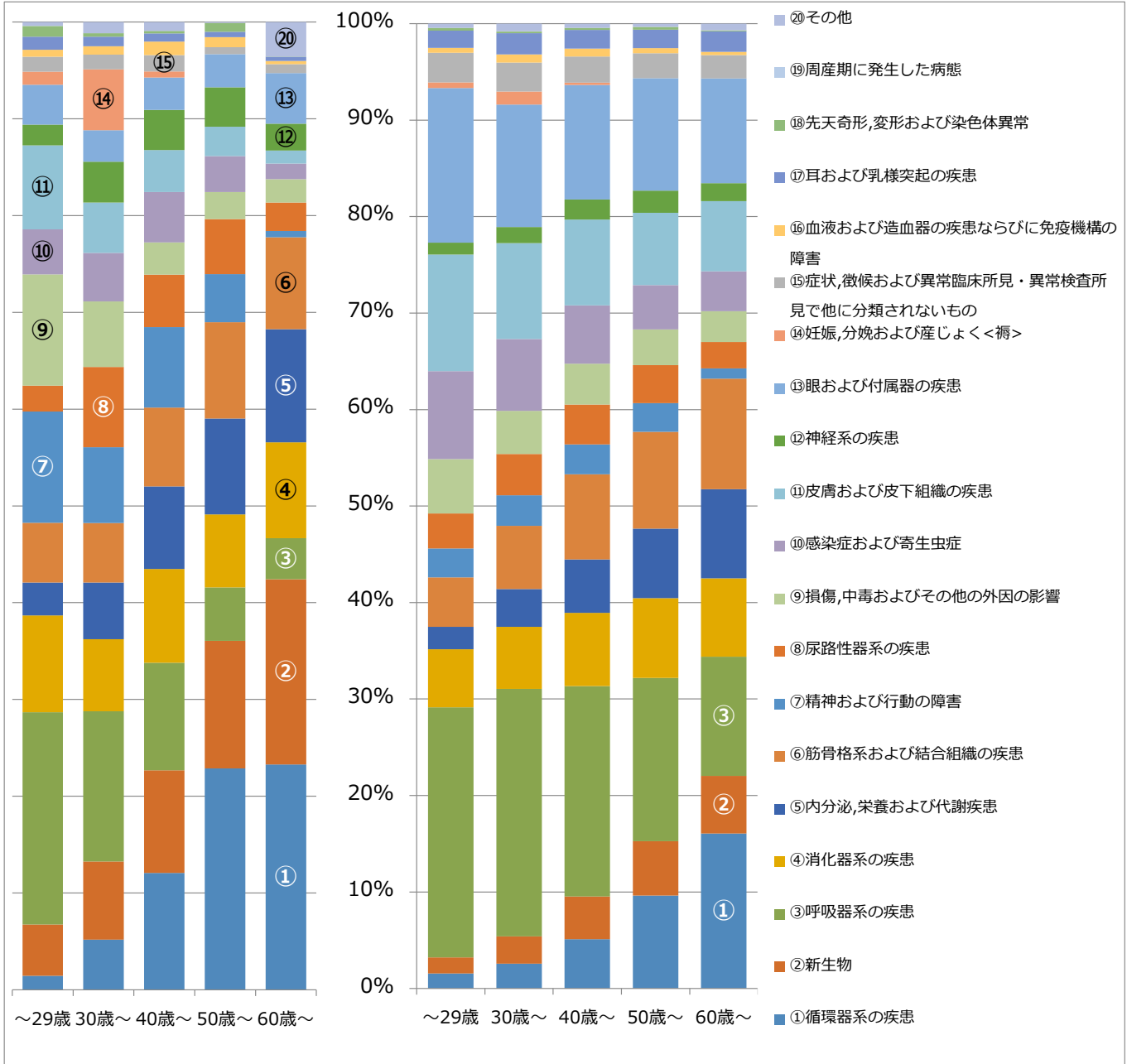
（2016年度・医科及び調剤レセプト・被保険者・主病名）

疾病別医療費割合をみると、「①循環器系の疾患」、「②新生物」、「③呼吸器系の疾患」の順に高くなっています。  
「①循環器系の疾患」、「⑤内分泌,栄養および代謝疾患」は、食事・運動・タバコ等の生活習慣病の改善により予防できる疾病です。

## ■年代別疾病別医療費及び受診者数の割合

### 【医療費】

### 【受診者数】



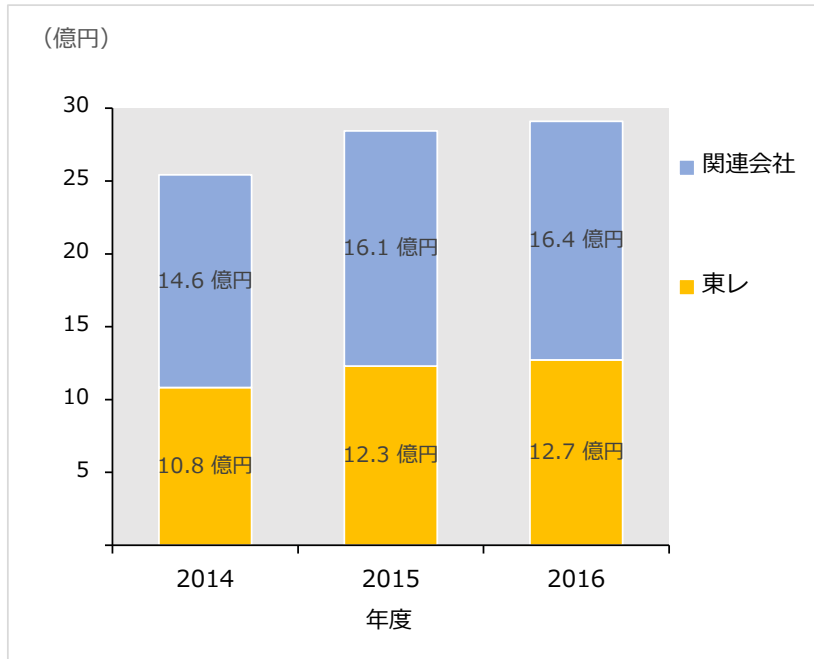
(2016年度・医科及び調剤レセプト・被保険者・主病名(医療費)/全疾病(受診者数))

年代別疾病別医療費及び受診者数の割合をみると、医療費、受診率ともに、年齢が上がるに連れて、「①循環器系の疾患」、「②新生物」の割合が増加しています。29歳以下でみると、「③呼吸器系の疾患」が20%以上を占めています。

### 3. 東レ・関連会社別の状況（医療費・疾病）

本項では、東レ・関連会社別の年間医療費、及び疾病状況について記載します。

#### ■医療費

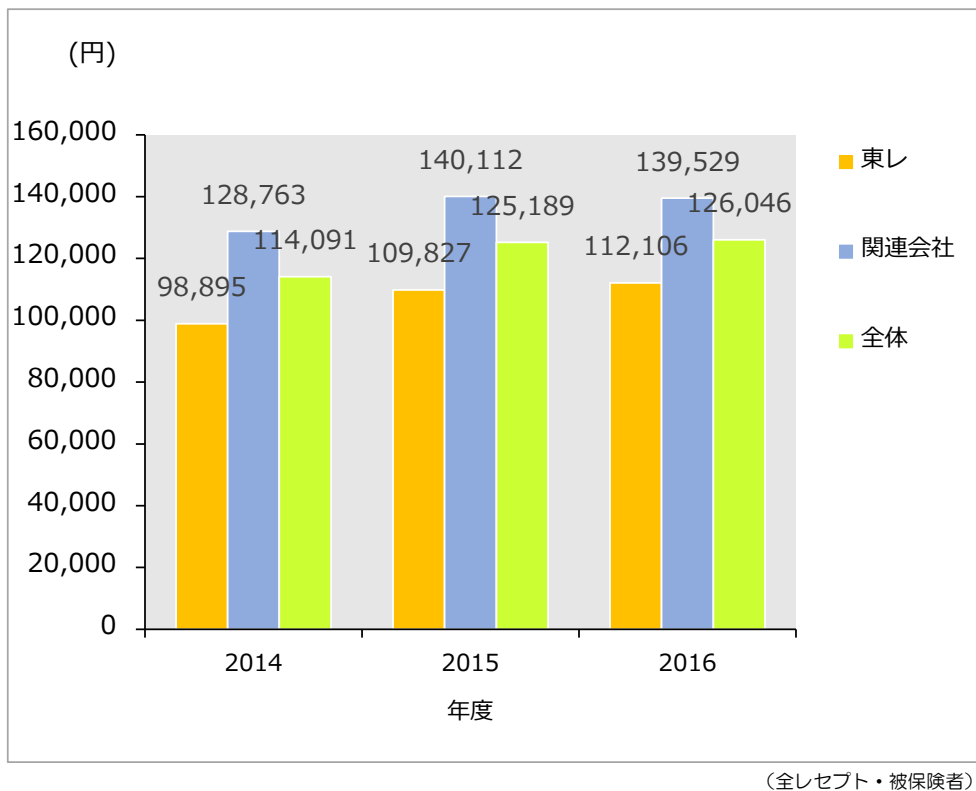


医療費をみると、2015年度と2016年度では、東レと関連会社ともに増加しています。増加の割合について、東レが東レ以外より高くなっています。

(参考) 東レ・関連会社別被保険者数

年度	2014	2015	2016
東レ	10,945	11,193	11,349
関連会社	11,337	11,522	11,734
全体	22,282	22,715	23,083

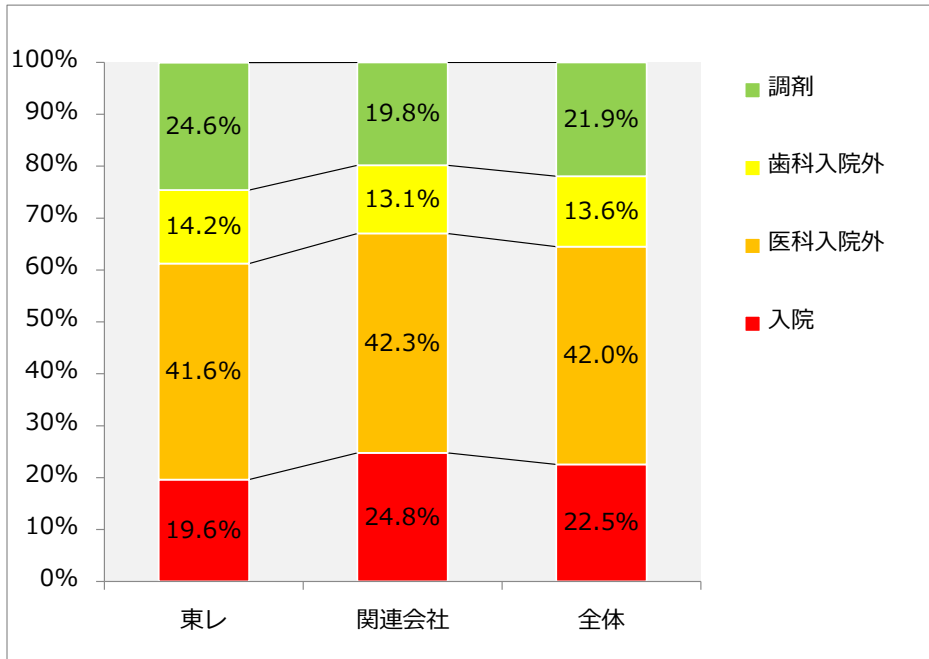
#### ■東レ・関連会社別一人当たり医療費の推移



東レ・関連会社別一人当たり医療費の推移とみると、2015年度と2016年度では、東レは増加、関連会社は減少しています。全体的に増加傾向にあります。



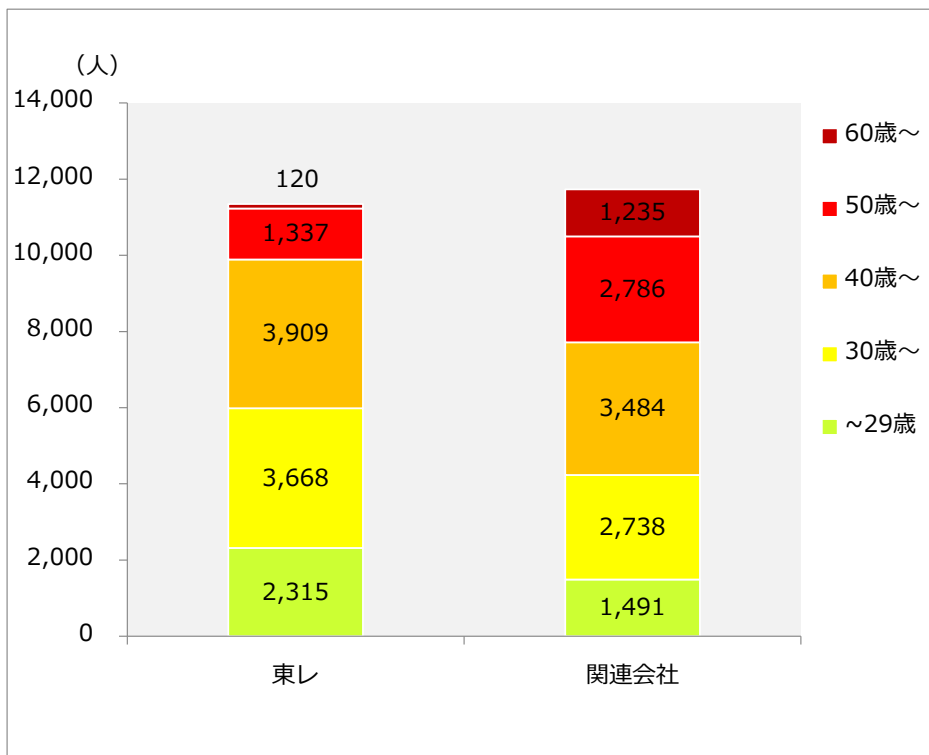
## ■ 診療区分別医療費割合



(2016年度・全レセプト・被保険者)

診療区分別医療費割合をみると、東レと関連会社で比較した場合、東レは調剤、関連会社は入院の割合が高くなっています。

## (参考) 東レ・関連会社別年代別被保険者割合



(2016年度・被保険者)

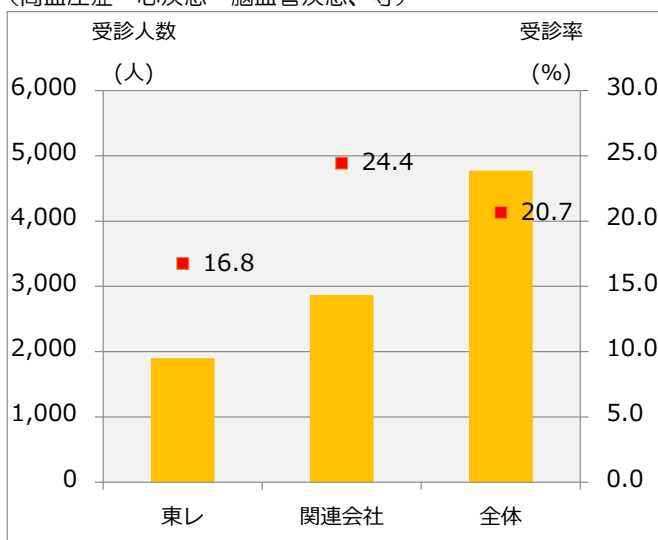
### 3. 東レ・関連会社別の状況（医療費・疾病）

本項では、東レ・関連会社別の医療機関受診状況について記載します。

#### ■主な傷病の医療機関受診率・受診人数（被保険者）

##### ○循環器系疾患

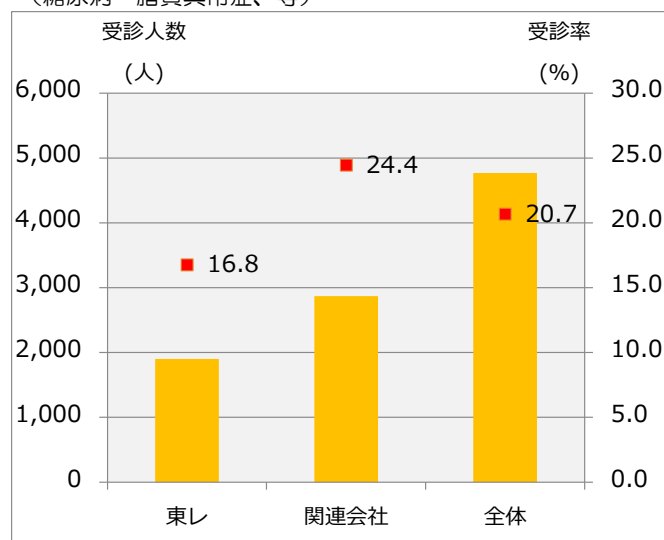
（高血圧症・心疾患・脳血管疾患、等）



（2016年度・医科レセプト・疑い病名は除く・被保険者）

##### ○内分泌・栄養・代謝疾患

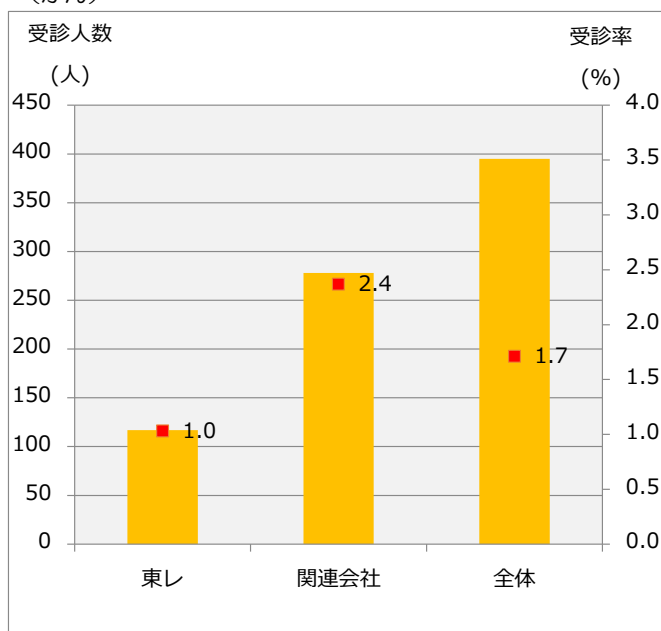
（糖尿病・脂質異常症、等）



（2016年度・医科レセプト・疑い病名は除く・被保険者）

##### ○悪性新生物

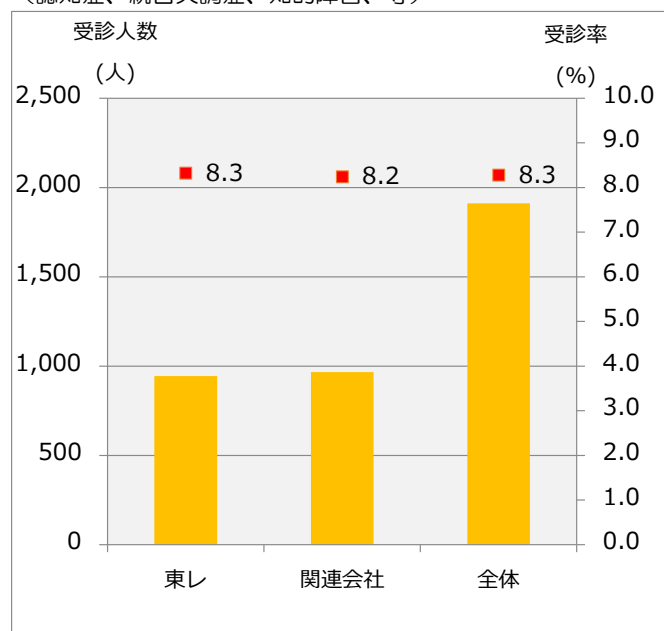
（がん）



（2016年度・医科レセプト・疑い病名は除く・被保険者）

##### ○精神および行動の障害

（認知症、統合失調症、知的障害、等）



（2016年度・医科レセプト・疑い病名は除く・被保険者）

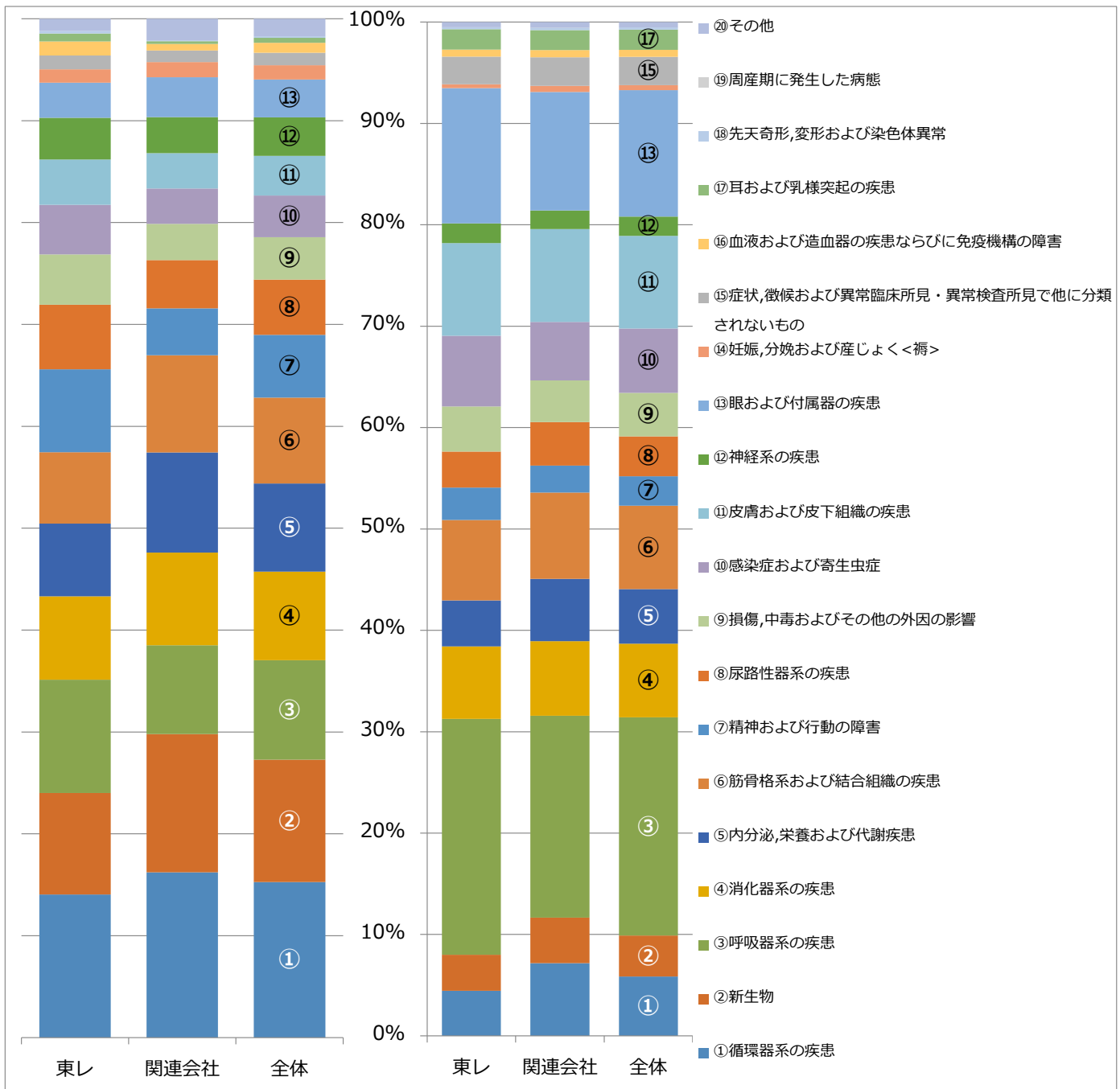
主な傷病の医療機関受診率・受診人数をみると、「循環器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」、「悪性新生物」では関連会社が高い受診率となっています。

また、「精神および行動の障害」では、東レ、関連会社ともほぼ同じ受診率となっています。

# 東レ・関連会社別疾病別医療費及び受診者数の割合

## 【医療費】

## 【受診者数】



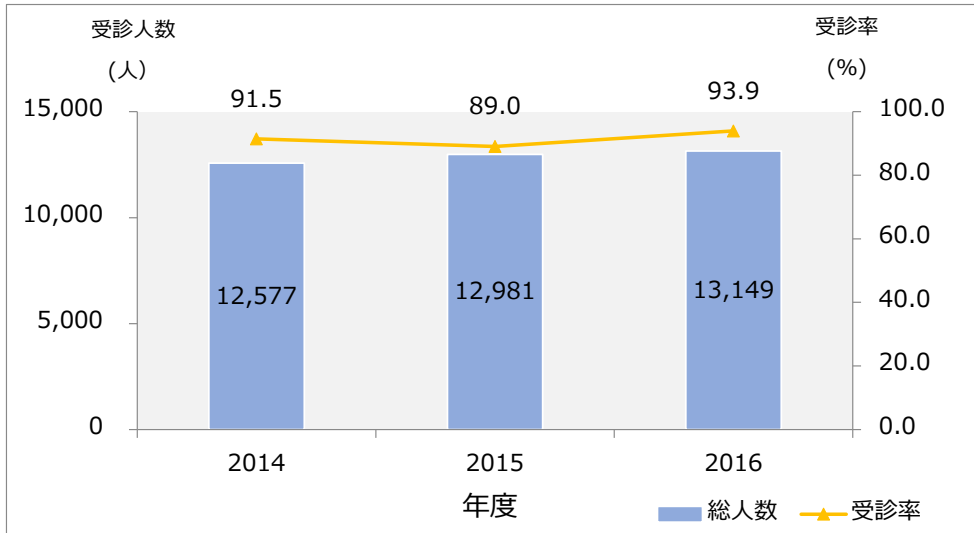
(2016年度・医科及び調剤レセプト・被保険者・主病名(医療費)/全疾病(受診者数))

東レ・関連会社別疾病別医療費及び受診者数の割合をみると、医療費では「①循環器系の疾患」が多く、10%以上を占めています。受診者数では、東レ、関連会社とも「③呼吸器系の疾患」が高い傾向となっています。

## 4. 健康診断の状況（1）

本項では、被保険者の健康診断のうち、受診率について記載します。

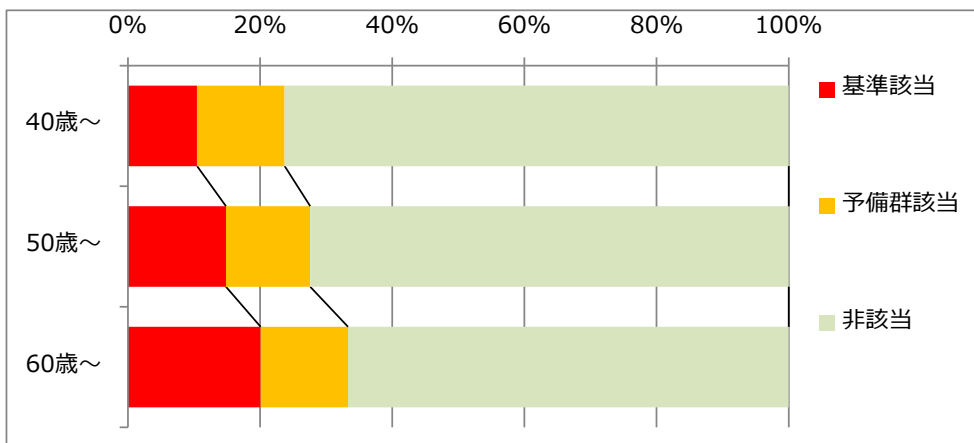
### ■健康診断受診率推移



(特定健診実績報告値)

健康診断受診率推移をみると、2015年度から2016年度にかけて、4.9ポイント上昇しました。

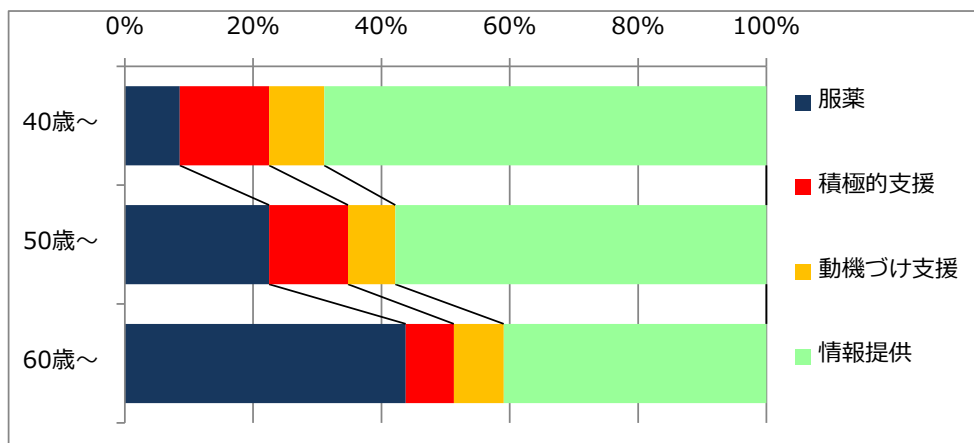
### ■メタボリックシンドロームの状況



(2016年度・被保険者)

メタボリックシンドロームの状況でをみると、予備群該当者の割合は、各年代でほぼ変わりませんが、基準該当者の割合は、年齢が上がるに連れて、増加しています。

### ■特定保健指導対象者の状況

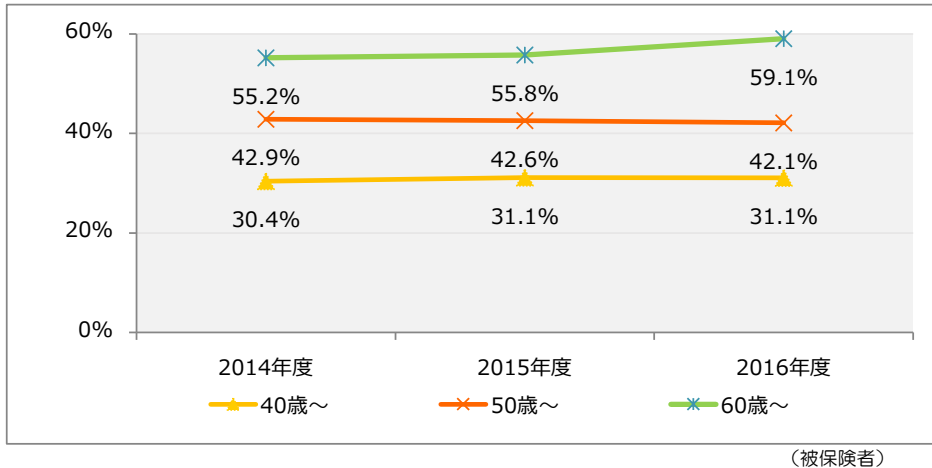


(2016年度・被保険者)

特定保健指導対象者の状況をみると、年齢が上がるに連れて、服薬者の人数は増加していますが、積極的支援の該当者は減少傾向にあります。

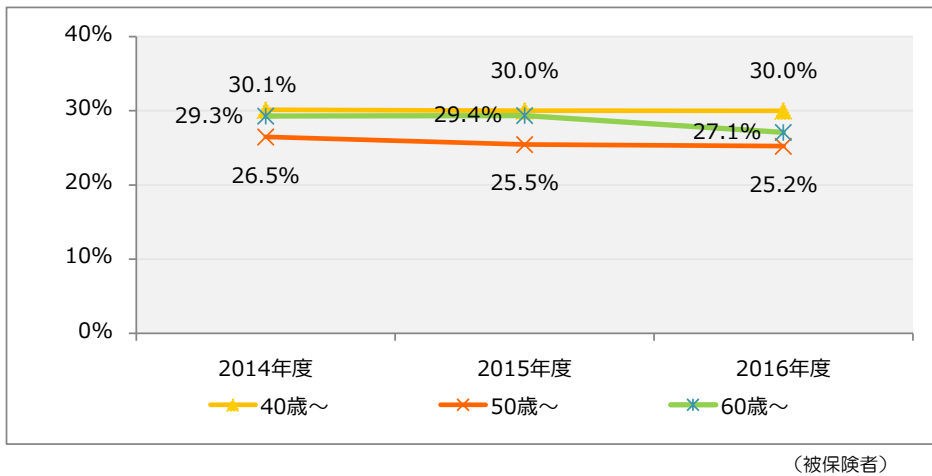
## ■生活習慣等の経年変化

### 特定保健指導対象及び服薬者割合



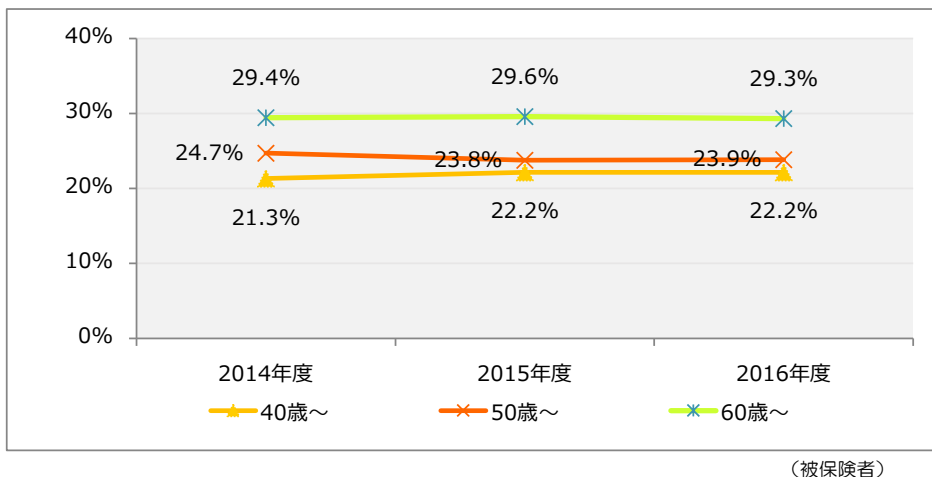
特定保健指導対象及び服薬者割合をみると、40歳代、50歳代はほぼ横ばいで、60歳以上は増加傾向にあります。

### 喫煙率



喫煙率をみると、50歳代、60歳以上は、減少傾向にあります。特に60歳以上は、2014年度から2016年度にかけて2.2ポイント下降しています。

### 運動習慣ありの割合



運動習慣ありの割合をみると、全ての年代でほぼ横ばいとなっています。

## 5. 東レ・関連会社別の生活習慣の状況

本項では、被保険者の生活習慣の状況について記載します。

各項目で良い結果には 水色

良くない結果には ピンク色 をつけています。

		健診項目	2016年度		
			東レ	関連会社	全体
運動	1	身体活動 (1日1時間以上歩く)	40.1%	38.4%	39.1%
	2	運動習慣 (週2日以上、30分以上の運動をする)	23.9%	23.2%	23.5%
	3	歩行速度が速い (同年齢の中で歩く速度が速い)	46.6%	44.9%	45.6%
食習慣	4	食べる速度が早い (人と比較して食べる速度が速い)	35.2%	31.2%	32.9%
	5	朝食を抜く (週3回以上、朝食を抜く)	17.5%	17.7%	17.6%
	6	夕食後の間食 (週3回以上、夜食を食べる)	15.9%	16.9%	16.5%
	7	寝る前の夕食 (週3回以上、就寝2時間前に夕食を食べる)	34.4%	27.9%	30.7%
喫煙習慣	8	喫煙習慣 (喫煙率)	26.5%	29.4%	28.1%
飲酒習慣	9	飲酒頻度 (毎日)	27.3%	30.4%	29.1%
	10	飲酒量 (1合以上)	56.2%	58.5%	57.5%
		飲酒量 (1合未満)	43.8%	41.5%	42.5%
睡眠	11	睡眠で休息が取れている	59.8%	58.8%	59.2%
体重	12	BMI (25以上)	28.0%	28.5%	28.3%
	13	20歳の時から体重が10kg以上増加している	38.1%	38.3%	38.2%
	14	この一年間で体重の増減が±3kg以上あった	24.8%	22.0%	23.2%

(被保険者)

※飲酒の適量は1日清酒1合までです。

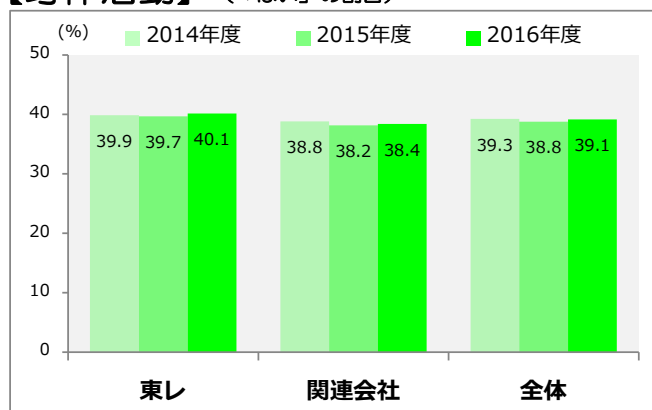
清酒1合(180ml)の目安: ビール中瓶1本(約500ml)、焼酎35度(80ml)、ウイスキーダブル1杯(80ml)、ワイン2杯(230ml)

生活習慣の状況について、東レ・関連会社別で比較すると

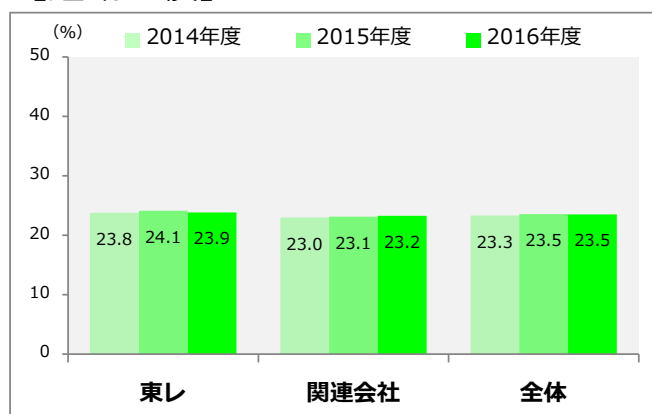
- 東レは、「喫煙習慣」や「飲酒頻度」、「飲酒量」で良い結果が出ています。
- 関連会社は、「食べる速度」、「寝る前の夕食」や「この一年間で体重の増減±3kg以上あった」において、良い結果が出ています。
- その他の項目は、ほぼ同じ割合の結果となっています。

## 運動

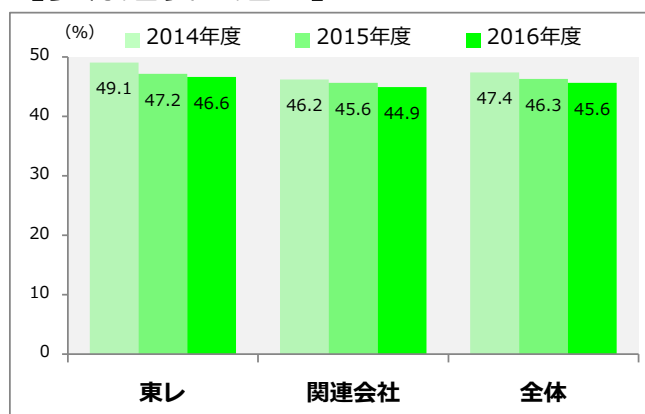
### 【身体活動】（「はい」の割合）



### 【運動習慣】（「はい」の割合）



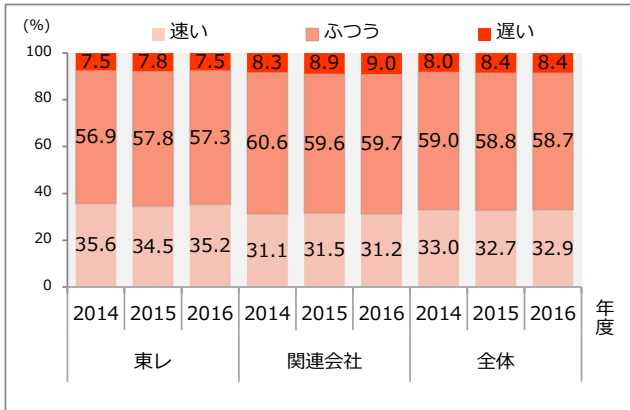
### 【歩行速度が速い】（「速い」の割合）



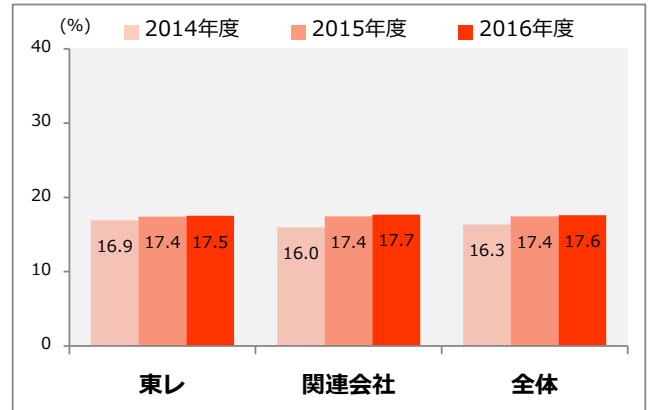
## 6. 東レ・関連会社別の生活習慣の状況（その2）

### 食習慣

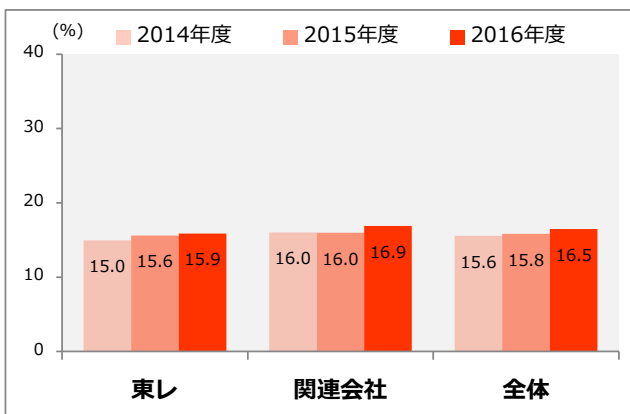
【食べる速度】（速度の割合）



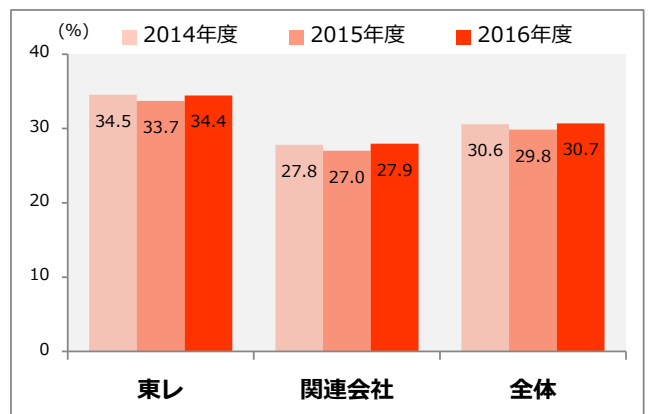
【朝食を抜く】（「はい」の割合）



【夕食後の間食】（「はい」の割合）

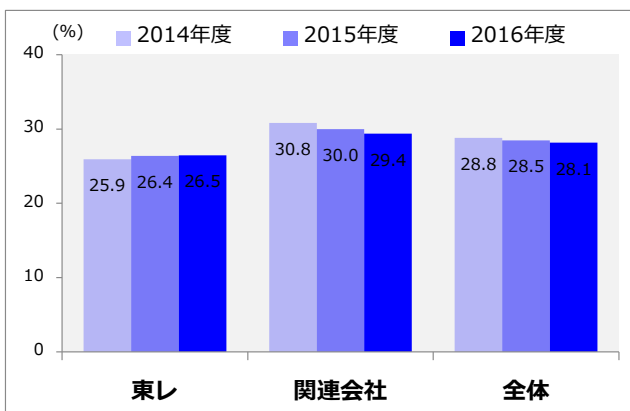


【寝る前の夕食】（「はい」の割合）



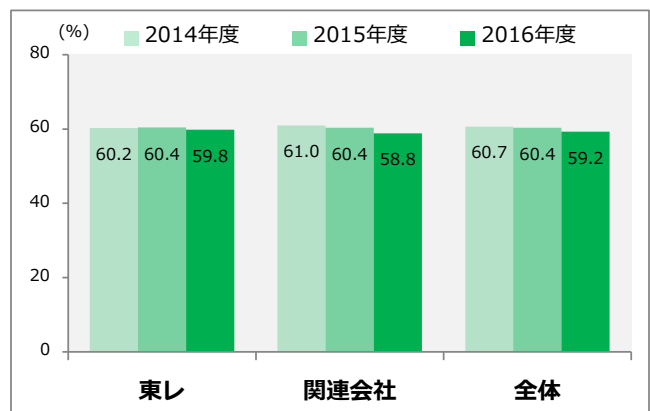
### 喫煙習慣

【喫煙習慣】（「はい」の割合）



### 睡眠

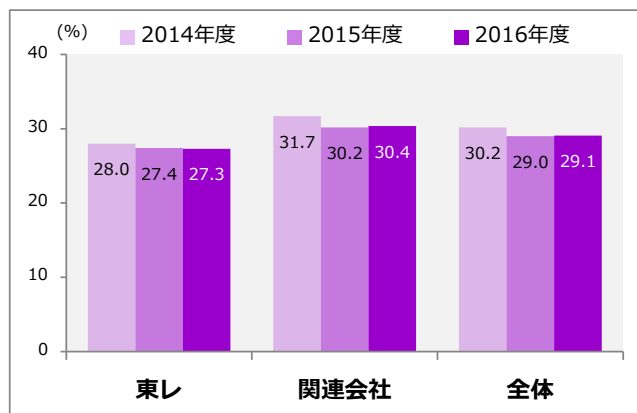
【睡眠で休養が取れている】（「はい」の割合）



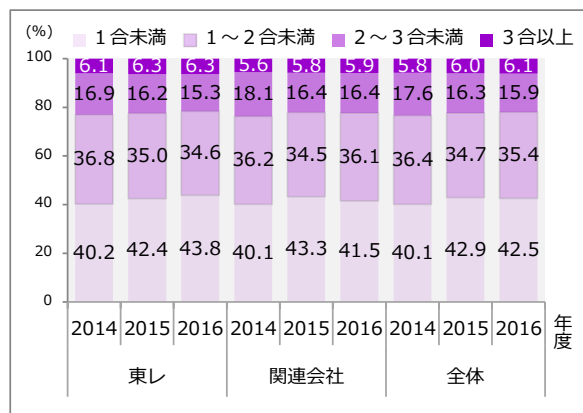


## 飲酒習慣

【飲酒頻度】（「毎日」の割合）

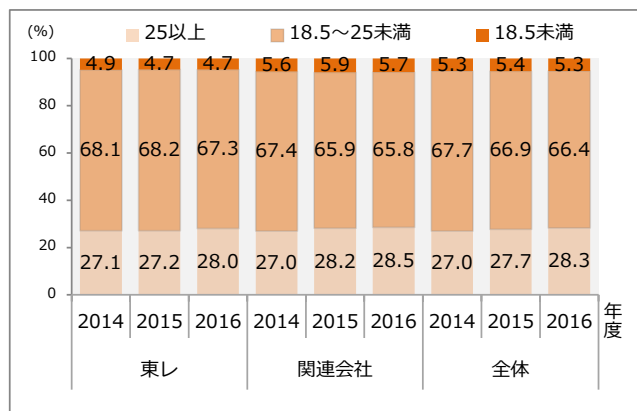


【飲酒量】（飲酒頻度「毎日」の者の飲酒量の割合）

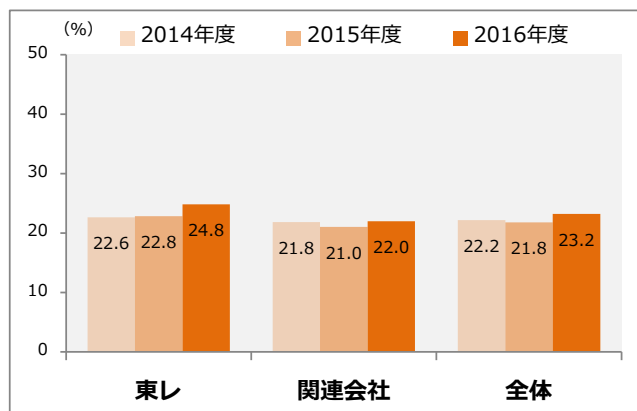


## 体重

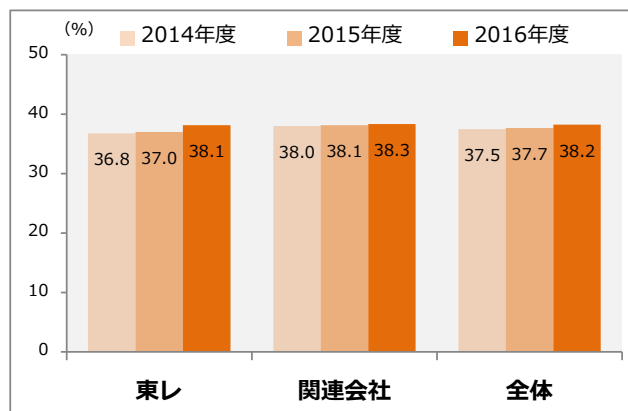
【BMI】



【20歳の時から体重が10kg以上増加している】（「はい」の割合）



【この一年間で体重の増減が±3kg以上あった】（「はい」の割合）



# まとめ

## 1. データ分析結果から見る、現在の状況

### ①医療費について（p2～3より）

医療費の2015年度からの伸び率は+2.5%、これに対して被保険者数は+1.6%となっています。被保険者一人当たり医療費の推移をみると、2015年度と2016年度では微増となっています。

### ②疾病について（p4より）

疾病別医療費割合をみると、「①循環器系の疾患」、「②新生物」、「③呼吸器系の疾患」の順に高くなっています。

### ③東レ・関連会社別の医療費について（p6より）

東レ・関連会社別一人当たり医療費の推移をみると、2015年度と2016年度では、東レは増加、関連会社は減少しています。全体的に増加傾向にあります。

### ④東レ・関連会社別の状況について（p8より）

主な傷病の医療機関受診率・受診人数をみると、「循環器系疾患」、「内分泌・栄養・代謝疾患」、「悪性新生物」では関連会社が東レより高い受診率となっています。

### ⑤健診・生活習慣について（p10～11より）

健康診断受診率推移をみると、2015年度と2016年度では、受診率が上昇しています。生活習慣の変化としては、喫煙率は減少傾向にあります。また、運動習慣ありの割合は横ばいとなっています。

## 2. 保健事業の現状と今後の施策

当健康保険組合では2015年度より「データヘルス計画（第1期）」に基づく保健事業を策定し、加入者の健康意識を高めるための情報提供や生活習慣病重症化予防に取り組んでいます。

現在、2018年度から始まる「データヘルス計画（第2期）」の策定を進めていますが、事業主・労組と連携した「コラボヘルス」を推進するべく、継続的な保健事業の実施と事業主・医療スタッフ・健保間のより一層の情報共有に取り組めます。

### 《特定健診・特定保健指導について》

被保険者については事業主との共同事業という形で健康診断と同時に実施していることから、高い健診実施率を維持しています。データヘルス計画では被保険者のみならず家族である被扶養者も対象であることから、既に導入している「巡回型健診」による受診機会の提供を継続し、健診受診率アップを目指します。

また、事業主と連携した施策として、特定保健指導の該当状況のフォローと、その改善に向けた支援を実施します。

### 《生活習慣病予防・健康づくり対策》

生活習慣病の予防策として、40歳未満の被保険者に対する生活習慣病啓発セミナーの開催を継続するとともに、KOSMOWeb、QUPiOの活用促進等による被保険者の健康意識の醸成に努めます。

また、「データヘルス計画（第2期）」の中間年である2020年度と最終年である2023年度に健康白書を発行することで、当健康保険組合に加入する被保険者の健康状態及び生活習慣における現状把握を行い、事業主・医療スタッフ・健保間での情報共有を行うことで、全社一体となった健康保持・増進策を継続していきます。

# 参考資料 疾病分類表(ICD-10)

項目	コード	ICD-10大分類名	傷病の例	本書中の番号
1	A00-B99	感染症および寄生虫症	細菌性食中毒、結核、ヘルペスウイルス感染、等	⑩
2	C00-D48	新生物	悪性新生物、がん、良性新生物、白血病、等	②
3	D50-D89	血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	貧血、多血症、等	⑯
4	E00-E90	内分泌、栄養および代謝疾患	甲状腺障害、糖尿病、栄養失調、肥満症、等	⑤
5	F00-F99	精神および行動の障害	認知症、統合失調症、知的障害、等	⑦
6	G00-G99	神経系の疾患	脳炎、髄膜炎、アルツハイマー、てんかん、片頭痛、等	⑫
7	H00-H59	眼および付属器の疾患	結膜炎、白内障、緑内障、等	⑬
8	H60-H95	耳および乳様突起の疾患	外耳炎、難聴、中耳炎、等	⑰
9	I00-I99	循環器系の疾患	高血圧、低血圧、心疾患、脳疾患、等	①
10	J00-J99	呼吸器系の疾患	風邪、インフルエンザ、肺炎、気管支炎、ぜんそく、等	③
11	K00-K93	消化器系の疾患	口内炎、胃潰瘍、ヘルニア、肝不全、肝硬変、等	④
12	L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	アトピー性皮膚炎、じんましん、等	⑪
13	M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	関節リウマチ、痛風、骨粗鬆症、関節症、等	⑥
14	N00-N99	尿路性器系の疾患	腎不全、腎炎、前立腺炎、不妊症、子宮内膜症、等	⑧
15	O00-O99	妊娠、分娩および産じょく<褥>	子宮外妊娠、流産、早産、分娩合併症、等	⑭
16	P00-P96	周産期に発生した病態	胎児発育遅延、胎児及び新生児に関する症状、等	⑱
17	Q00-Q99	先天奇形、変形および染色体異常	先天奇形(内臓や身体部位)、ダウン症候群、等	⑱
18	R00-R99	症状、徴候および異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの	心拍異常、咳、腹痛、胸やけ、倦怠感、疲労、めまい、等	⑮
19	S00-T98	損傷、中毒およびその他の外因の影響	アルコール毒作用、薬物中毒、骨折、外部損傷、等	⑨
20	V00-Y98	傷病および死亡の外因	交通事故、転倒、故意の自傷、等	
21	Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因 および保健サービスの利用	健康診断、経過観察、視力検査、等	
22	U00-U99	特殊目的用コード	重症急性呼吸器症候群[SARS]等	

発行：東シ健康保険組合

〒520-0842  
滋賀県大津市園山1丁目1-1  
TEL：077-537-0189